

第69回本試験 出題論点一覧（法人税法）

問題番号		出題された論点	難易度
第一問			
問1	(1)	事業年度の意義(会計期間の定めがある場合)	◎
		(会計期間の定めがない場合)	×
		(1年を超える会計期間の場合)	×
	(2)	みなし事業年度(ケース1)	◎
		(ケース2)	◎
		(ケース3)	◎
問2	(1)	交際費等の意義	◎
	(2)	交際費等から除かれる費用①	◎
		②	◎
		③	○
		④	△
		⑤	△
	(3)	損金算入限度額①(中小法人)	◎
		②(中小法人以外)	◎
	(4)	接待飲食費の意義	◎
	(5)	事実関係1(該当の可否)	○
		(理由)	△
		事実関係2(該当の可否)	○
		(理由)	△
		事実関係3(該当の可否)	○
(理由)		○	
第二問			
問Ⅰ	問1	租税公課(損金経理納税充当金)	×
		(仮払租税公課認定損)	◎
		(損金経理法人税等・住民税)	◎
		(損金経理延滞税・延滞金)	◎
		(事業所税)	○
		役員給与の損金不算入額(交通反則金)	◎
	問2	リース取引の判定	◎
	問3	リース取引の税務上調整すべき金額	◎
	問4	みなし配当金の金額	△
	問5	有価証券(B社株式)	△
		(D社株式)	◎
		(E社株式)	◎
		受取配当等の益金不算入額(配当等の額)	△
		(支払利子)	×
		(総資産の帳簿価額)	◎
		(期末関連法人株式等)	×
		(簡便法の割合)	○
		(益金不算入額)	×
		控除所得税額	△
問Ⅱ	問6	棚卸資産の評価方法	◎
		H商品	◎
		I商品	◎
		J商品	○
	問7	K建物	×
		L機械装置	△
		M器具備品	○
	問8	取締役N	○
		取締役O	△
	問9	欠損金額の当期控除額	×

難易度の「◎」は出来なければいけない部分

「○」は出来てほしい部分

「△」は出来なくても仕方ない部分

「×」は出来なくてもよい部分 を示す